

中学校二年生の漢字プリント一

名前

【光村図書 国語2】アイスプラネット一〜プリント二に続く

(1) 朝の**支度**をする

(14) **極端**な話をする

(2) 東京の**郊外**に住む

(15) **寂しく**感じる

(3) **六畳間**の部屋

(16) **突然**話かけられる

(4) **单身赴任**で仙台に住む

(17) 寝坊して**慌てる**

(5) **歓迎**会を開く

(18) 手を**握る**

(6) **唯一無二**の宝物

(19) **大股**で歩く

(7) 態度が**幼稚**だ

(20) **封筒**が届く

(8) **怪しい**人物

(21) 切手を**貼る**

(9) 馬の**脚**

(22) 息が**詰まる**

(10) **勘違い**をする

(23) **伯父**さんは父の兄だ

(11) 氷の**惑星**

(24) **叔父**さんは母の弟だ

(12) 写真を**撮る**

(25) 服を**畳む**

(13) 彼はほら**吹き**だ

(26) 感情の**赴く**まま

ゆいいつむに
ただそれ一つだけしかなく、二つとないもの。

深く考えずに勢いのままに物事を行うこと。

かんしん

(1) 〔**歓心**〕を買う

人の気に入るように努める。人の機嫌をとる。

かいだんばなし

(2) 〔**怪談話**〕をする

きやっこう

(3) 〔**脚光**〕を浴びる

周囲の注目を集めること。

たんしんふにん

(4) 〔**单身赴任**〕で仙台に住む

かんべん

(5) 〔**勘弁**〕してほしい

にげまどう

(6) 〔**逃げ惑う**〕人々の姿

さつえい

(7) カメラで〔**撮影**〕する

すいそうがくぶ

(8) 〔**吹奏楽部**〕に入部する

ゆうべん

(9) 自分の考えを〔**雄弁**〕に語る

みちばた

(10) 〔**道端**〕のタンポポ

せいじゃく

(11) 〔**静寂**〕に包まれる

とっぴょうし

(12) 〔**突拍子**〕もない

とんでもなく調子はずれである。

あわただしい

(13) 〔**慌ただしい**〕毎日

あくしゅ

(14) 〔**握手**〕をする

こかんせつ

(15) 〔**股関節**〕が柔らかい

ほうけん

(16) 日本は昔〔**封建**〕国家だった

土地を介した、主従関係による支配体制。

ちようふ

(17) 資料に写真を〔**貼付**〕する

いきをふきかえす

(18) 〔**息を吹き返す**〕

生き返る。蘇生(そせい)する。われに返る。

つんだ

(19) 目の〔**詰んだ**〕布

いしだたみ

(20) 〔**石畳**〕の道を歩く

おばな

(21) 〔**雄花**〕と雌花

はし

(22) 道の〔**端**〕を歩く

こんをつめる

(23) 〔**根を詰める**〕

一つの物事を、精神を集中させて、続けて行う。

てにあせをにぎる

(24) 〔**手に汗を握る**〕

緊張感やハラハラドキドキする様子を表す。

おす

(25) 〔**雄**〕のライオン

つく

(26) 魚をモリで〔**突く**〕

むらさきしきぶ

(1) 紫式部

(14) 消費者の傾向をつかむ

ほたる

(2) 蛍の光

(15) 血と汗の結晶

おもむき

(3) 趣のある景色

(16) 山紫水明

大変な努力によって得られた結果のこと。
さんしすいめい

ねみみ

(4) 寝耳に水

(17) 蛍雪の功

不意の出来事や知らせに驚くことのとたとえ。

苦労しながら勉強にはげむこと。
どじょうおせん

しも

(5) 真っ白な霜

(18) 土壌汚染の問題

おどる

(6) 楽しく踊る

(19) 車の排気ガス

かたむける

(7) 耳を傾ける

(20) 会心の笑み

注意して聞く。熱心に聞く。

すいしょう

(8) 水晶が割れる

しがいせん

(9) 強い紫外線

けいこう

(10) 蛍光色のペン

しゅみ

(11) 趣味を楽しむ

しゅうしん

(12) 就寝の時間

ぶよう

(13) 日本舞踊を習う

中学校二年生の漢字プリント四

名前

【光村図書 国語2】 熟語の構成 一くプリント五に続く

さんがく

(1) 山岳 救助隊

(14) 二つの職を 兼業 する

とうじょう

(2) 飛行機の 搭乗 手続き

のうむ

(15) 濃霧 注意報

かふく

(3) 禍福 は糾える縄の如し

ちつじょ

(16) 秩序 が乱される

けいちょう

(4) 慶弔 用の礼服

だとう

(17) 妥当 なやり方

せんと

(5) 都を京都に 遷都 する

とうほんせいそう

(18) 東奔西走

しゅんそく

(6) 彼は 俊足 だ

きどあいらく

(19) 喜怒哀楽

もうけん

(7) 猛犬 に注意する

けいきよもうどう

(20) 軽挙妄動

しょうぞうが

(8) 肖像画 を描く

しっふうじんらい

(21) 疾風迅雷

うんてんめんきょしょう

(9) 運転免許証 を更新する

げいいんばしよく

(22) 鯨飲馬食

おす

(10) 雄 と 雌

おんこうとくじつ

(23) 温厚篤実

めす

(11) 二人は 師弟 関係だ

かねあい

(24) 予算との 兼ね合い

せいじょう

(12) 車を 洗浄 する

たにがわだけ

(25) 群馬県の 谷川岳

にちぼつ

(13) 日没 の時間

とむらう

(26) 死者を 弔う

(1) 自我じがが芽生える

(14) 名前の記入欄きにゅうらん

(2) 麦芽ばくがはビールの原料

(15) 体育祭の選手宣誓せんしゅせんせい

(3) 仲の良い姉妹しまい

(16) 作文の原稿用紙げんこうようし

(4) 極秘ごくひの任務

(17) シャーペンの芯しん

(5) 雌雄しゆうを決する

(18) 意見を箇条書きかじようがきで書く

(6) 大は小を兼ねる
大きい物であれば、小さい物の用途にも用いられる。

(19) 拝啓はいけい、田中様

(7) 勇猛ゆうもう果敢かかん
勇ましく、また強い決断力を持って事に当たるさま。

(20) 携帯けいたいが鳴る

(8) 五里霧中ごりむちゆう
迷って方針や見込みなどの立たないこと。

(21) 犯罪を阻止そしする

(9) 人を哀れむあわれむ

(22) 租税そぜいを負担する

(10) 鯨くじらの生態

(23) 注意喚起ちゅういかんきする

(11) 霧きりが晴れる

(24) 王様の王冠おうかん

(12) 話の要旨ようしを捉える

(25) 奉仕活動ほうしかつどうをする

(13) クラスの名簿めいぼ

(26) 最高峰さいこうほうの賞をもらう

中学校二年生の漢字プリント六

名前

【光村図書 国語2】漢字に親しもう1 続きく十五 / クマゼミ増加の原因を探る 十六 / プリント七に続く

(1) 将来を「**誓う**」
ちかう

(14) 「**拾得物**」を預かる
しゅうとくぶつ

(2) 手帳を「**携える**」
たずさえる

(15) 「**拾万円**」貯める
じゅうまんえん

(3) 「**冠**」を曲げる
かんむり

(16) 成虫に「**羽化**」する
うか

(4) 江戸時代の「**奉行所**」
ぶぎょうしょ

(17) 虫を「**捕る**」
とる

(5) 高くそびえる「**峰**」
みね

(18) 「**顕著**」にあらわれる
けんちよ

(6) キリストの「**福音**」
ふくいん

(19) セミの「**抜け殻**」
ぬけがら

(7) 「**仮病**」を使って休む
けびょう

(20) 道を「**舗装**」する
ほそう

(8) 「**歩合制**」の給料
ぶあいせい

(21) 空気が「**乾燥**」する
かんそう

(9) 「**早速**」返事が来た
さっそく

(22) 「**枯れ枝**」が折れる
かれえだ

(10) 「**写経**」をして心が落ち着く
しゃきょう

(23) 虫が「**産卵**」する
さんらん

(11) 「**京阪**」鉄道
けいはん

(24) クマが「**冬眠**」する
とうみん

(12) 花を「**図示**」した本
ずし

(25) 幼虫が土に「**潜る**」
もぐる

(13) 「**仁王像**」を彫る
におうぞう

(26) 寒さに「**耐える**」
たえる

(1) 寒さが「緩和」する
かんわ
たいきゆうせい
「がある素材」

(2) 気温が「零度」を下回る
れいど
靴が「緩い」
ゆるい

(3) 体が「柔らかい」
やわらかい
「柔軟」な考え方
じゆうなん

(4) 獲物を「狙う」
ねらう
腕の良い「狙撃手」
そげきしゆ

(5) 「必須」事項を伝える
ひつす
山で「遭難」する
そうなん

(6) 事故に「遭う」
あう
表情が「硬い」
かたい

(7) 粘土が「硬化」する
こうか
敵を「捕らえる」
とらえる

(8) 野球の「捕手」
ほしゆ
「不眠不休」
ふみんふきゆう

(9) 卵の「殻」
から
「影を潜める」
かげをひそめる
表立った所から姿を隠す。

(10) 「無味乾燥」
むみかんそう
速度を「緩める」
ゆるめる

(11) 「栄枯」盛衰
えいこ
せいすい
栄えたり衰えたりを繰り返す人の世のはかなさをいう。

(12) 早めに「眠る」
ねむる
「顕微鏡」をのぞく
けんびきよう

(13) 「潜在」意識
せんざい
ひそむ
物陰に「潜む」
ひそむ

中学校二年生の漢字プリント八

名前

【光村図書 国語2】 具体とちゅうしょう一〜八 / 漢字に親しもう2 九〜プリント九に続く

ちゅうしょうか

(1) 物事を「抽象化」する

いりょうひ

(2) 「医療費」の無料化

かべ

(3) 家の「壁」

げんかん

(4) 「玄関」を出る

かたのに

(5) 「肩の荷」が下りる

責任を果たす意。

へきが

(6) 「壁画」を描く

ちゅうせん

(7) 「抽選」に当たる

かべ

(8) 「壁」に耳あり「障子」に目あり

どこかで誰かに聞かれているかも知れないということ。

いかん

(9) 実力を「遺憾」なく発揮する

遺憾なく…十分に

じあい

(10) 「慈愛」に満ちた表情

慈愛…深い愛情。

よゆう

(11) 時間に「余裕」がある

そぼく

(12) 「素朴」な疑問

かんだい

(13) 「寛大」な心

寛大…心が広くて思いやりがあること。

はんざつ

(14) 「煩雑」な手続き

煩雑…面倒なまでにこみいっていること。

きぐ

(15) 失敗を「危惧」する

危惧…心配しおそれること。

さまたげる

(16) 信仰を「妨げる」

あきる

(17) 遊びに「飽きる」

しげる

(18) 雑草が「茂る」

ひかえる

(19) 間食を「控える」

ごらく

(20) 映画は「娯楽」の一つだ

そんしょく

(21) 「遜色」ない出来だ

遜色ない…見劣りしない、負けていない。

かんゆう

(22) サークルの「勧誘」

勧誘…すすめ、誘い入れること。

こんいんとどけ

(23) 「婚姻届」を提出する

じゅうじょう

(24) 「強情」な奴だ

めがみ

(25) 勝利の「女神」

しいる

(26) 無理を「強いる」

中学校二年生の漢字プリント九

名前

【光村図書 国語2】漢字に親しもう2 続きく七 / メディアを比べよう 八く二十六

てんによ

(1) 美しい 天女

つなみ

(14) 津波 が発生する

かんでんのじう

(2) 干天の慈雨

ひがい

(15) 地震の 被害

困っているときにさしのべられる救いの手。

わずらわす

(3) 他人の手を 煩わす

しょせき

(16) 書籍 が売れる

ぼうがい

(4) 作業を 妨害 する

おどる

(17) 心が 踊る

ほうわ

(5) 飽和 食塩水

もよおす

(18) 展覧会を 催す

はんも

(6) 水草が 繁茂 する

さける

(19) 車を 避ける

繁茂…草木が盛んに生い茂ること。

すすめる

(7) お茶を 勧める

かかげる

(20) 目標を 掲げる

あて

(8) 母親 宛て の手紙

のる

(21) 新聞に 載る

かつやく

(9) 大会で 活躍 する

つつうらうら

(22) 津々浦々

かいさい

(10) イベントが 開催 される

全国至る所。全国のすみずみ。

こうむる

(23) 被害を 被る

まんが

(11) 漫画 を読む

のせる

(24) 荷物を 載せる

ひなんじよ

(12) 避難所 に集まる

あてさき

(25) 手紙の 宛先

けいさう

(13) 情報を 掲載 する

もよおしもの

(26) 催し物 会場

中学校二年生の漢字プリント十

名前

【光村図書 国語2】 短歌に親しむ一〜二十一

(1) 思いを「託す」

たくす

(14) 「新鮮」な魚

しんせん

(2) 映画を「鑑賞」する

かんしょう

(15) 「爽快」な気分

そうかい

(3) 「丁寧」に描く

ていねい

(16) 「竜頭蛇尾」

りゅうとうだび

(4) 人の「優しさ」に触れる

やさしさ

(17) 「悠々自適」

ゆうゆうじてき

(5) 乳牛のいる「牧場」

まきば

(18) 雨の「滴」

しずく

(6) 「鮮やか」な色

あざやか

(19) 「竜巻」が発生する

たつまき

(7) 「爽やか」な朝

さわやか

(20) 業務を「委託」する

いたく

(8) 「恐竜」の化石

きょうりゆう

(21) 「印鑑」を押す

いんかん

(9) 「水仙」の花

すいせん

(10) 「我が物顔」にふるまう

わがものがお

自分の物でないのに、自分の所有物のようにふるまう態度。

ゆうぜん

(11) 「悠然」と立ち去る

悠然…落ち着いていて、少しもあわてないさま。

すぐれた

(12) 「優れた」点がある

いっせき

(13) 「一滴」の水

中学校二年生の漢字プリント十一 名前

【光村図書 国語2】言葉の力1〜9 / 類義語・対義語・多義語10〜26

(1) 語彙ごいを増やす

語彙…ある言語の持っている単語の数。

(2) 淡いあわい色

(3) 強さを内に秘めるひめる

(4) 華やかはなやかな色合い

(5) 鍋で煮詰めるにつめる

(6) 脳裏のうりに焼き付く

(7) 和歌の精髓せいずいを極める
精髓…物事の本質をなす最も重要な部分。

(8) 色の濃淡のうたん

(9) 栄華えいがを極める
栄華…権力や富貴をきわめていること。

(10) 紙を手で裂くさく

(11) 傘かさをひらく

(12) 風鈴ふうりんの音色

(13) 豚肉ぶたにくを購入こうにゅうする

(14) 廉価れんかな商品
廉価…ねだんが安いこと。

(15) 真摯しんしに取り組む
真摯…まじめで、ひたむきなさま。

(16) 先生の教えを実践じっせんする

(17) 慎重しんちような考え方

(18) 軽率けいそつな行動

(19) 風船が破裂はれつする

(20) 予鈴よれいが鳴る

(21) 清廉潔白せいれんけつぱく

(22) 豚に真珠ぶたにしんじゆ
心が清く、正しく、後ろめたいことがないさま。

(23) 支離滅裂しりめつれつ
趣旨がばらばらで、一貫性に欠けているさま。

(24) 死語を慎むつつしむ

(25) 養豚ようとん業を営む

(26) 鈴虫すずむしの鳴き声

中学校二年生の漢字プリント十二 名前

【光村図書 国語2】言葉を比べよう 一く六 / ほんやく作品を読み比べよう七

がいねん

(1) 概念 を表す言葉

概念・物事の「何たるか」という部分。

きく

(2) 菊 の花

なべ

(3) 鍋 で料理を作る

えんぴつ

(4) 鉛筆 を削る

じゅよう

(5) 需要 と 供給

きょうきゅう

なまり

(6) 鉛 のおもり

ほんやく

(7) 日本語に 翻訳 する